

採血照合システム及び自動採血管準備装置

保守仕様書

2022年5月

埼玉県立がんセンター

I. 対象装置

1) 検査総合受付機(尿カップ 出力付き)	2台	
2) 有人受付		
2) -1 制御システム	1台	※UPSを含む
2) -2 手動発行用尿カップラベラー装置	1台	
2) -3 手動用整理券発行装置	1台	
2) -4 ラベルプリンター装置	2台	
3) 採血表示システム		
3) -1 採血番号表示誘導大型モニター	2台	
3) -2 掲示板モニター	1台	
4) 採血管準備装置		
4) 本体	3台	
5) 患者認証装置付き採血台		
5) -1 採血業務支援システム	9台	
5) -2 採血番号表示モニター	9台	
5) -3 電動採血台	9台	
5) -4 採血レコーダーシステム	9台	
6) 血管可視化装置	3台	

II. 必要条件

- ① 導入から1年目は保証期間として、無償対応を行うこと。
- ② 年2回のメーカー点検とメンテナンスを含み、運用管理者へその報告書を掲示すること。
- ③ 点検の際は、メーカー推奨の定期交換部品を交換すること。なお、定期交換部品は受託者負担に含めること。
- ④ 点検、メンテナンスの出向費、作業費を受託者負担に含むこと。
- ⑤ トラブル時のオンコールにかかる出向費、作業費を受託者負担に含むこと。
- ⑥ 検査項目の変更、追加の出向費、作業費を受託者負担に含むこと。
- ⑦ 採血管の変更、受付票レイアウトの変更の出向費、作業費を受託者負担に含むこと。

- ⑧ その他、システム運用上の仕様変更の出向費、作業費を受託者負担に含むこと。

Ⅲ. 対応条件

- ① システム導入から稼働準備、稼働後のシステムサポートまで一貫した支援体制を整えサービスの提供をすること。
- ② 故障、トラブル発生時において、迅速に対応するための専門の要員によるサポート体制が充実していること。
また、メーカーのサポート対応の電話連絡先を提示すること。
- ③ 対象装置は異常、エラーが発生した場合、現場の職員が初期対応できる仕組みを設けること。
- ④ 職員の初期対応で復旧できない故障、トラブル対応はメーカー出向の迅速な対応ができる体制であること。
- ⑤ メーカー出向のトラブル対応は朝 6 時から電話連絡ができ、採血開始 8 時までにサービスマンによる復旧と当日内に修理ができる体制であること。
- ⑥ 全ての部品は交換または代替修理が可能で毎日の稼働に影響を与えないこと。
- ⑦ 定期点検、システム変更、修理対応の翌日の朝は患者の診療に影響がないよう、必要に応じて稼働確認のための立ち合いをすること。